

システム改修について（令和元年11月27日）

- 気象台による土壌雨量指数の**高頻度化・高解像度化**による配信データ等の変更に伴い、県の土砂災害警戒情報システムを改修しました。

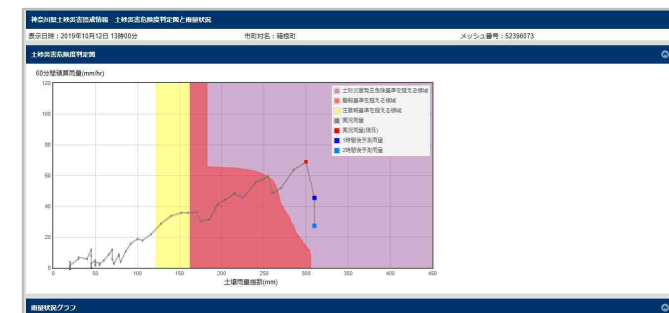
改修の概要

■ 1. 高頻度化

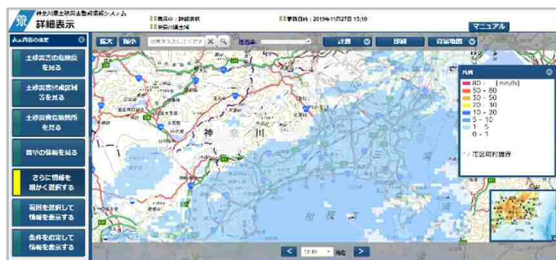
- システム上で表示される情報（雨量や土壌雨量指数）が10分毎で更新されるようになりました。

■ 2. 高解像度化

- 土砂災害危険度判定図が1kmメッシュ単位で表示されるようになりました。

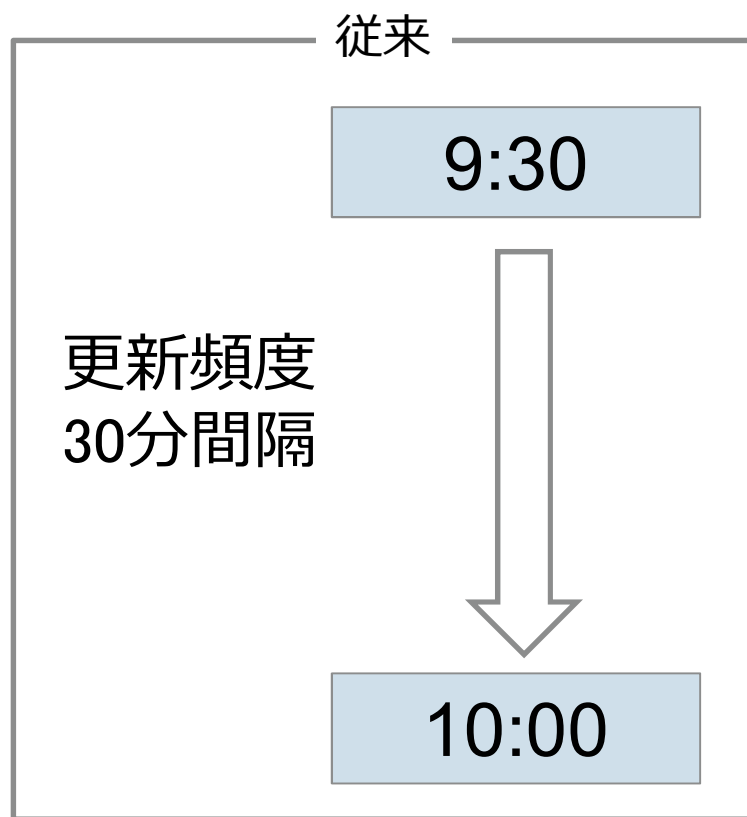


1. 高頻度化対応について

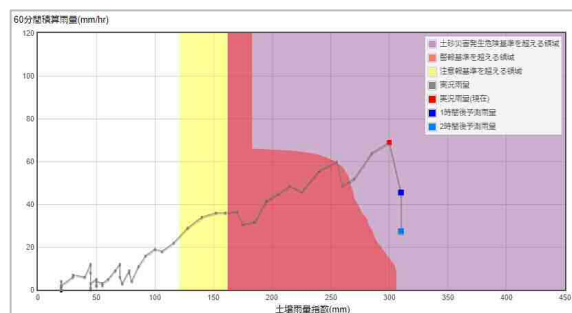


速報版解析雨量表示

雨量情報や土壌雨量指数は、気象台の情報を30分毎に表示していましたが、今回の改修によって、10分毎の情報で更新され表示ができるようになりました。



2. 高解像度化対応について



土砂災害危険度判定図

土砂災害の危険度を判断するための「土砂災害危険度判定図」が、従来の5kmメッシュ単位から、より詳細な1kmメッシュ単位で表示できるようになりました。

従来



更新後

